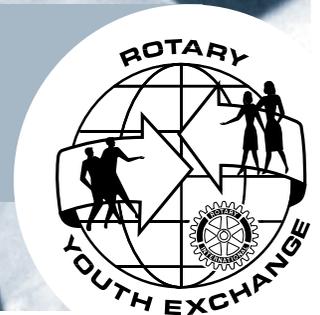




ホストファミリーの手引き





ホストファミリーの手引き

外国からの青少年交換学生を迎えることは、素晴らしい経験です。この経験によって、外国の文化に親しみ、この若い学生の夢や希望を分かち合う機会が与えられるでしょう。青少年交換は、学生とホストファミリー全員の人生を豊かにすることを約束します。

本手引きは、青少年交換プログラムおよびホストファミリーの責務全般に関する一般的な情報を収めています。詳しい情報や疑問点については、地元の青少年交換プログラムが実施するオリエンテーションで説明されるはずです。これらの重要なオリエンテーションに必ず出席し、ロータリー青少年交換プログラムのホストファミリーとしてあなたが期待すべきこと、また、交換学生やプログラム企画者があなたに期待していることを完全に理解してください。



1

序

交換には主として2種類があります。

1. **長期交換**は、通常、受入れ国で1学年度を過ごすもので、学生は2~3軒のホストファミリーと共に生活し、学校へ通います。
2. **短期交換**は、数日間から数週間のものまでさまざまです。学校が休みの期間中にしばしば行われ、通常、学業は含まれません。短期交換は、受入れ国で1軒のホストファミリーの家にホームステイするのが普通ですが、多くの国々の学生が集まる国際青少年キャンプとして組織することもできます。

これらのプログラムのホストファミリーはロータリアンであっても、ロータリアン以外でも構いません。通常、ロータリーのホストファミリーは、さまざまな形態や人数の家族があり、幼い子供がいる場合やより年上の子供がいる場合、あるいは子供がいない場合もあります。

ロータリアン以外のホストファミリーにとって、交換学生を受け入れる経験の重要な一面に、ロータリーの活動を理解することがあります。**ロータリー・クラブ**は奉仕組織で、地

域社会の人々の生活の質を高めるために努力し、職業における高い道徳的水準を奨励し、世界中で親善や平和を築くための助力をしています。その会員組織は、地元のビジネスや専門職務の指導者層を代表しています。クラブはさまざまな奉仕活動を行い、そのうちの 하나가青少年交換なのです。

管理運営の目的から、クラブは**ロータリー地区**と呼ばれる地理的地域にグループ分けされています。ロータリー青少年交換プログラムは、クラブおよび地区のレベル全体で管理運営されています。

国際ロータリー (RI) は、世界中のロータリー・クラブの連合です。RIは、青少年交換活動を実施するようクラブや地区を奨励したり、出版物や指針の提供を通じて支援する一方、ロータリー地区は、RIから独立して青少年交換プログラムを運営します。

毎年、世界中のロータリー地区は、中高校生のために7千以上の国際青少年交換を行っています。このプログラムの主要目標は、国際交換を通じて世界理解を促進することです。





学生の選考

ロータリー青少年交換学生は中高生で、一般的に、平均以上の学業成績を示し、課外活動に参加していれば本プログラムに受け入れられます。地元のロータリー・クラブや地区が詳細な申請書や面接を通じて青少年を選考するのが、標準的な慣習となっています。このプロセスによって、責任感が強く、しっかりした学生だけを交換学生として派遣することができるのです。一般的に、学生の母国のプログラム運営者が申請者の学業成績、語学能力、一般的な適応力などのさまざまな資質を審査します。身体に障害のある学生も、長期および短期の交換に申請するよう奨励されています。

青少年交換の規則

各クラブや地区のプログラムは、学生が従うべき独自の具体的な規則を設けています。ロータリー青少年交換に受け入れられた学生は、自国を出発する前に、プログラムの規則が記載された文書に署名をし、同意します。学生の受入れロータリー・クラブが、あなたおよび学生とプログラムの全規則について話し合いますが、学生に求められていることを

すべて明確に理解してもらうため、あなたは学生と一緒に規則に目を通す必要があります。交換留学中いつでも、必要なことやあなたに対する要望を学生が話す機会を与えてください。

本プログラムの規則は、自動車やオートバイを運転しない、薬物やアルコールを違法に使わない、交換期間中に地元地域以外を旅行する場合には特別な許可を得る必要があることなど、一般に常識的な条項から成っています。これらに加え、交換期間中に恋愛関係を持たないように強く勧められています（とはいえ、文化的標準に従った付き合いは奨励されます）。性的行為は厳しく禁止されています。

ロータリー・クラブおよび地区の責務

学生の母国のスポンサー・ロータリー・クラブあるいは地区は以下の責務があります。

- 受入れクラブあるいは地区に、学生の旅行日程を知らせ「派遣」オリエンテーションを企画する。
- 交換期間中、交換学生および受入れ地区やクラブとの連絡を維持する。





- ホストファミリーが変わったり、帰国した際に、交換学生から適切な事後報告を受ける。

受入れロータリー・クラブあるいは地区は以下の責務があります。

- プログラムに参加する前に、すべてのボランティアおよびホストファミリーを審査選考する。この選考過程には、ロータリアンによる申請書の審査、予告および無予告の自宅訪問、1回もしくは2回以上の面接などが含まれます。ホストファミリーとして選ばれる前に、身元照会人を提供したり、犯罪歴の確認に同意するよう求められることもあります。
- 到着時に学生を出迎える。
- 地元の中学・高校への登録、学費、その他の教育面の事柄を手配する（長期交換の場合）。
- 「受入れ」オリエンテーションを実施する。
- 必要なことや要望についてあなたと学生が話し合えるよう支援し、学生のための社会的・文化的な催しを実施する。

- 長期交換には、ロータリアン顧問を任命し、学生のための毎月の手当てあるいは小遣いを支給することもできる。
- 学生のホストファミリーあるいは直接的な関わりのある社交サークルの一員ではないロータリアン顧問を通じ交換期間中、学生およびホストファミリーと連絡を保つ。

ホストファミリーの責務

交換学生は学業に秀で、物事を対処する力も他の10代の青少年より優れているものですが、自らが慣れ親しんだ国から遠く離れ、しばしば母国語以外で生活をしなければならず、傷つきやすい存在でもあります。

ホストとして、あなたは交換を成功させるという重要な責務を有しています。ホストファミリーは、あなたと学生の間で信頼と友情を育むことのできる安全で、脅威のない、尊重される適切な環境を提供しなければなりません。ホストファミリーの重要な役割を強調するために、国際ロータリーは「青少年との接し方に関する声明」（本冊子の裏用紙



内側を参照)を採択し、本プログラムへの全参加者が理解し、従うべきものであるとしました。

いかなる問題が起きた場合にも迅速に対応し、解決できるよう、ホストファミリーは受入れロータリー・クラブとの緊密な連絡を維持する必要があります。それに加え、交換学生は、交換留学中のいかなる心配事や問題についても、担当の顧問に自由に連絡が取れるようにしておくべきです。

受入れの準備

学生を受け入れることは、家族全員にとって非常にやりがいのあることです。準備がしっかり整い、積極的なホストファミリーだけが、皆の経験をより充実したものにできます。より詳しい情報や具体的な質問は、地元のロータリー・クラブあるいは地区までお問い合わせください。

交換学生を受け入れたことがなければ、多少の不安を感じるのは当然のことです。しかし、ホストファミリーを引き受ける前に、学生を受け入れることに本当に抵抗がないことを確認してください。学生の受入れに関して深刻な心配があれば、あなたは交換の義務を果たすことができないと考

え、あるいは自分自身の問いに対する適切な答えがない場合には、ホストファミリーを引き受けることに同意すべきではありません。

交換前および交換中に期待すべきことに関するいくつかの考察を以下に挙げました。

交換学生の到着に備える

交換学生のスポンサー・ロータリー・クラブと受入れロータリー・クラブが交換における手配の大部分を整える一方、あなたもいくつかの方法で学生の到着に備えることができます。文化的違いを理解するために学生の文化を十分に知っているかどうかを考えてください。まだよく知らない場合には、インターネットや図書館で一般的な調査をしておきましょう。地元のロータリー・クラブも情報を提供することができるでしょう。

学生の氏名および連絡先がわかり次第、ホストファミリーは交換学生およびその両親と連絡を取る必要があります。最も簡単な方法は、地元のプログラムから学生のEメール・アドレスを教えてもらうことです。学生に歓迎の意を





5



伝えると共に、あなたの家族（家族の人数、年齢、趣味など）、気候に合う衣服の種類（学生がまだ出発していない場合）、地元地域社会や学校、他の留意事項に関する情報を教えてあげてください。言い換えれば、外国文化の新しい家に住む場合に、あなただったらどのようなことを知りたいかを考え、そのような情報を与えてください。

交換学生と会い、自己紹介をする

学生の到着時に受入れロータリー・クラブあるいは地区のロータリアンが学生を空港まで出迎えるとはいえ、学生の最初のホストファミリーが代表して出迎えることも必要です。到着時には学生は大変疲れており、時差ぼけからの回復あるいは長旅や時間の調整のために時間が必要であることを忘れないでください。

空港での挨拶に加え、多くのホストファミリーは新しい交換学生のために非公式な歓迎パーティーを開きます。その目的は、後に交換学生が関わりを持つ地域社会の人々や家族の友人に、交換学生を紹介することです。パーティーの後、学生は仲間のグループの多くのメンバーにやっと出会う

ことができます。多くの受入れロータリー・クラブは、特に近隣地域に多くの交換学生がいる場合、交換留学の初期にこの紹介過程の始まりとして社交行事を開きます。

国際ロータリーは、交換学生の滞在初期に学生とホストファミリーが話し合うために「ホストファミリーにたずねる質問見本」のリストを提供します。これらの質問リストが必要な場合は、地元のロータリーのプログラムまたはクラブにご連絡いただくか、RIのウェブサイト (www.rotary.org) のダウンロード・センターをご利用ください。

オリエンテーションと適応

上記に述べたように、交換学生は受入れ国への到着前や到着後に、地区から正式なオリエンテーションを受けます。しかし、オリエンテーションがどれほど徹底したものであっても、学生は、まったく知らない土地に来る外国人として最初のホストファミリーのもとにやって来るのであり、慣れない言語やアクセント、違う言葉に遭遇することになるのです。また、交換は、学生が自国から離れる初めての旅行であることさえあります。



交換学生ができるだけスムーズに適應できるようにする方法の一つは、あなたと学生が互いの文化について誤った考えを抱く可能性があることを認識しておくことです。あなたが無礼とか受け入れられないと考えるような行いが、学生の文化においては規範とされている場合もあり、その逆もまた然りです。このような誤解によって、ホストファミリーが学生の行いの動機を誤解することになりかねないことを認識してください。ロータリー地区によっては、これらの問題についてホストファミリーに説明するための異文化オリエンテーションを実施していますので、このような会に出席することをお勧めいたします。

学生の適應を助けるこの他の方法に、毎日の生活の中にあるあなたの国の文化を学生と分かち合うことがあります。これは、あなたが入念な余興を計画する必要があることを意味するわけではありません。ただ単に、学生をあなたの家族の一員とみなし、あなたの国の大部分の10代の学生が経験するのと同じような家族生活を味わわせればよいのです。学生を、客としてではなく、家族の一員として扱うよう努めてください。また、自分の子供が交換でどのように扱

れてほしいかを考え、学生をそのように扱ってください。

家族の一員であるという意識を促すために、学生がホストファミリーの両親を「お母さん」とか「お父さん」、あるいは他の適切な名前などのくだけた呼称で呼ぶことが望ましいとされています。早いうちから学生とこのような関係を持つことで、スムーズかつ充実したホームステイを実現することができます。

以上をよく考慮したにもかかわらず、学生のホームシックを解決したり、学生が直面する困難に対処することができない場合もあるでしょう。学生のオリエンテーション・プログラムの重要な要素は、ホストファミリーによる支援に加え、学生を支援するネットワークです。このネットワークには、受入れ国の顧問、学校の指導顧問、地区青少年交換役員、クラブ会員、学生の母国にいる家族が含まれます。これら各者への連絡方法を学生が知っていることを確認し、問題をあなたと話し合うことができないと学生が思ったとしても、それを脅威に感じないでください。

この幅広い支援のネットワークは、心配事や問題が生じた際に、学生が安心して話せる人が常にいるようにするもの





7



です。しかしながら、問題や心配事が簡単に解決できないような場合には、学生が通常よりも多く自分の両親と連絡をとることができるよう計らうべきです。

一般的な家族の手配事項

学生が到着する前に、あなたの家庭に滞在する期間が決まられていなくてはなりません。学生は自分用の寝室を持つか、または同性、同じ年頃の若い家族と部屋を共有するようにします。ただし、交換学生は自分用のベッドを使用し、着替えや風呂のプライバシーが守られなければなりません。また、家の中に学生が一人で勉強できる空間を与えなければなりません。

交換学生に部屋と食事を提供するのに加え、ホストファミリーの両親は、交換学生自身の両親がするような一般的な親としての監督義務を遂行するよう求められています。また、病気、ホストファミリーや学校への適応困難、家族や家での人間関係に関する心配、深刻なホームシックなどの大きな問題に学生が直面している場合には、学生のロータリー顧問に通知するのもホストファミリーの両親の責務です。全関係者といつでも連絡が取れるようにしておくこと

が、学生とホストファミリーにとって安全な環境を生み出すためにも必要です。悩み事があればいつでも話すよう学生を励ましてください。

以下のような問題や家庭の規則についても話し合う必要があります。滞在の最初にこれらについて話し合うことによって誤解を避けるのが賢明です。

- 学生の部屋の掃除や食事の手伝いなど、ホストファミリーの子供に求められているのと同じような家事の手伝いに関する責務
- 通常の日課：食事、就寝時間、勉強時間、等
- 門限
- 家の鍵
- 緊急の電話番号および緊急事態発生時の手順に関する説明
- 市内交通手段に関する情報（地図を用いると便利）
- 宗教的な習慣
- 電話およびコンピューターの適切な使用



交換学生が直面するいくつかの 主要事項

大部分の交換学生はしっかりとしていますが、彼らはまだ10代です。ホストファミリーは、滞在中に学生に接する時、このことを念頭におく必要があります。ホストファミリーであるあなたは、交換留学中の学生の第一の接点となります。深刻な問題が起こった場合には、直ちに学生の顧問に連絡し、状況について相談し、最良の解決法を探してください。質問や懸念があれば、どんなに些細なことでも、学生の顧問もしくは受入れロータリー・クラブの会長または地区青少年交換役員に連絡してください。それぞれの交換留学の経験は独自なものですが、交換留学中のある時点で、多くの学生は以下のような問題に直面します。

語学力

共に生活する最初の数日間で、学生とホストファミリーは言語上の問題が存在することに気づくはずですが、学生によっては、到着する前に受入れ国の言語を勉強したことがあり、

時には既にかなり話せる場合もあります。しかし他の学生は、到着後に追加の語学授業を受けるよう要請されることもあります。とはいえ、教科書から得られた知識では、毎日の言語使用に備えることができません。学生とのコミュニケーションに伴う微妙な誤解や苛立ちに対して心の準備をしておいてください。はっきりと、ゆっくり話し、我慢強くなるよう心がけてください。

家庭の規則、地理的方角、他の事柄について言われたことを学生が理解したかどうか、努めて理解するようにしてください。慣れない言語でのコミュニケーションによる苛立ちから、戸惑った学生が実は理解していないのに、理解したと言うこともあるのだということを常に念頭に置いてください。それとは逆に、ホストファミリーは学生が言わんとしていることを自分が本当に理解したかどうかを確かめ、分からない場合にははっきりと分かるよう躊躇せずに説明を求めるべきです。同じ事柄を何度か繰り返すことも予想しておいてください。時には、交換学生の母国語に堪能な第三者（教師、通訳、学生の母国からの来訪者など）に手伝ってもらうことが必要になるかもしれません。





9

ホームシック

言語上の問題がある場合、ほぼすべての交換学生が遅かれ早かれ直面することになる現象、すなわちホームシックに同時にかかっていることがよくあります。交換留学の初期の目新しさや興奮の段階が過ぎると、学生は突如として異国にいる孤独感を感じることがありますが、これは正常な反応です。ホームシックにかかった学生は、日々の多くの問題をおおげさに捉え、郷愁の思いで母国のことを考えます。

突然のホームシックは学生にとってとても辛いものであるかもしれません。最良の治療法には、学生の母国語を話す人に接することや、充実した活動プログラムなどがあります。興味がある場所への小旅行や、単なる社交的な催しも役立ちますし、趣味を始めたり、地域社会の活動に参加するよう学生を励ますのもよいでしょう。長期交換では、ホームシックがなかなか直らない場合、学生の顧問ロータリアンもしくは学校の指導顧問が力になることができます。

医療に関する懸念事項

常用薬、アレルギー、受処方眼鏡やコンタクトレンズなど、学生の特別な医療ニーズについてあなたは知ってなければなりません。受入れロータリー・クラブや地区が、学生の申請書類と共に最近の医療記録を保持しています。

学生は、受入れ国に滞在する期間中有効な適切な医療保険に加入するよう求められています。この保険は、地区を通して加入の手配がなされ、学生によって発生する医療費をすべて賄えるものでなければなりません。学生があなたの家庭に滞在する間は、あなたはこの保険の証書およびその他の医療関係文書のコピーをもらっておく必要があります。

食事制限に関する懸念事項

学生は、健康あるいは宗教上の理由、個人的嗜好から、特別な食事制限を必要とする場合があります。これらの制限は、常に尊重されなければなりません。受入れ国の多くの食べ物は、学生にとって目当たらしいことや、奇妙に感じられることがあります。新しい食事を試すよう学生に勧める





のはよいことですが、学生の嗜好を受け入れ、食事を強制するようなことは避けてください。

学校に関する懸念事項

多くの長期交換は、交換学生の通学を義務づけています。受入れロータリー・クラブおよび地区が地元の中高等学校と必要な学費の手配をしてくれる一方、ホストファミリーの両親は、学生が順調に学校生活を始められるよう見守らなくてはなりません。最初のホストファミリーは、教科を組むために、交換学生と一緒に学校の指導顧問を訪ねることも考える必要があります。交換学生は、ほとんど不可能と思われるほど多くの授業に出席しなければならないと知っていることがよくあることに注意してください。新しい学校に慣れるまでは、あまり多くの学科を履修しないよう学生に助言してください。

交換学生が学校の手続きに慣れるためには、あなたが指導することが必要かもしれません。学校のシステムが非常に異なる場合は特にそうです。ホストファミリーの兄弟姉妹が、学校の指導顧問にこの分野で協力することができるでしょう。学校までの安全な往復道順、また、必要な場合に

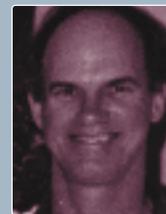
学校以外で昼食を取る際の食堂までの安全な道順を必ず教えてください。

滞在先を変える

長期交換学生のほとんどは、学年度中、2、3の異なるホストファミリーの家庭に滞在します。これによって、学生は受入れ国における異なる家庭の生活を体験することができ、文化全体をより良く理解することができるようになります。ホストファミリーと交換学生が、最初からその滞在期間を知っておくことが大切です。最初の家族の交替は、交換学生に多くの動揺を与えるかもしれません。当初カルチャー・ショックを乗り越えるのを手助けしてくれた家族と学生が既に良い関係を築いているからです。

したがって、交換学生を交換留学の早期段階で次のホストファミリーに紹介しておくのが理想とされます。一つの家庭から別の家庭への移行を容易にするため、新しいホストファミリーが交換学生を前の滞在先まで迎えに行くこと、そして以前の家族が時折交換学生を訪問することが良いアイデアであるとしばしば考えられます。





交換学生がホストファミリーが変わることをつらいと思っている場合には、機会を広げるためであることを伝えながら、共感と理解を示してください。ロータリアン顧問、理解ある教師、あるいは学生の信仰する宗教の牧師などからの助言も、円滑に移転を進めるのに役立ちます。

交換学生によるロータリーの義務履行

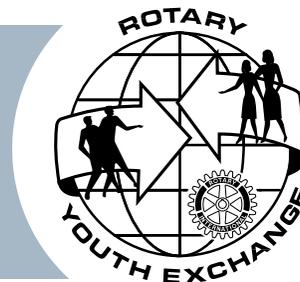
ホストファミリーは、他の課外活動に優先する交換学生のロータリーの義務遂行に助力するよう奨励されています。通常、これらの義務には、クラブや地区の会合などのロータリー活動への出席、およびそこでのスピーチなどが含まれます。受入れクラブや地区で交換学生がその体験談を発表することは、交換の最も重要な特色であり、親善使節としての学生の役割を果たす手段でもあります。

ホストファミリーは、最初からこのロータリーの義務を承知していなければならず、学生が新しい環境に慣れるのを見守りながら、この義務を遂行させていきます。例えば、交換学生がロータリーの行事でスピーチを引き受ける前に、学生は新しい文化や言語に慣れるための時間が必要である

ことをホストは理解しなければなりません。新環境に順応する一環として、学生が交換留学の早期にロータリー・クラブの会合に出席することは名案です。そうすることで、後の諸会合でよりリラックスしてスピーチを行うことができるでしょう。

学生は、「スピーチが得意ではないから」という理由でスピーチを断ることはできません。学生が経験を積んだ雄弁家であるとは誰も期待していません。聴衆は、学生を見て、自分たちの文化に対する感想を聞くことに興味を持っているのであり、巧みなスピーチに関心があるわけではありません。

ロータリアンではないホストファミリーも、学生と一緒にこれらのロータリーの行事に参加したいと望むかもしれません。ロータリーの行事で学生がよりリラックスできるようにするためのこれら各種の支援は、じっくりと時間がかかる場合もあります。



要約

交換学生の受入れにおける責務を要約すると、次のようになります。

- 交換学生を到着時に出迎え、家族の一員として気楽につがせる。
- 自分の家族が海外滞在中にどのように扱われてほしいかを考え、それと同じように学生を扱う。
- 学生が常に安全で、尊重され、適切な環境にいられるよう計らう。
- 自分自身の家族がするのと同じような家事、雑用、活動などを学生にもさせる。
- 学生の学校での成績を監督する。
- 学生が言語に熟達するよう助ける。
- 他の若い人々に会うよう学生を促す。
- 学生がロータリーの義務を履行する時間が作れるよう、外部の要請から学生を保護する。
- 相違に寛大であり、自分の考えを変えることをいとわない。

交換学生の受入れにおける責務は複雑ではありませんが、理解と思いやり、そして忍耐が必要です。ロータリー青少年交換プログラムを通じて学生を受け入れることは、素晴らしい報いがあります。その一例をあげれば、視野を広げられること、国際的な理解が深められること、長期にわたる友情が培えることなどがあります。あなたの地域社会で交換学生を受け入れることに関するこの他の情報は、地元のロータリー・クラブあるいは地区までお問い合わせください。

交換学生の人生を変え、それによって世界を変えながら、あなた自身の人生を豊かに充実させるご決断を下されたことに、心よりお祝い申し上げます。

青少年との接し方に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加する全ての人々のために最も安全な環境を作り、維持するよう最善を尽くしています。全ロータリアン、その配偶者、ボランティアの人々は、関わる児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待を防止して、彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任があります。

